

廃棄物貯蔵庫（10棟）の工程変更について  
(廃棄物貯蔵庫（10棟）運用開始に関する補足説明資料)

2022年12月19日

---

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

# 1. 固体廃棄物貯蔵庫第10棟の進捗状況



- 10棟の安全機能喪失時（遮蔽機能、閉じ込め機能の喪失）の評価は、「一時的運用時及び将来的運用時の線量評価」について実施。
- 一時的運用の考え方（運用期間を含む）については、実施計画に記載予定。
- 実施計画補正申請は、2023年2月上旬までに実施予定。

## <安全機能喪失時の線量評価>

### ■ 一時的運用

	遮蔽機能喪失	閉じ込め機能喪失	合計
10-A棟	約0.0018mSv	約0.18mSv	約0.19mSv
10-B棟	約0.00099mSv	約0.18mSv	約0.19mSv
10-C棟	約0.0015mSv	約0.008mSv <sup>※1</sup>	約0.0095mSv

<5mSv

### ■ 将来的運用

	遮蔽機能喪失	閉じ込め機能喪失	合計
10-A棟	約1.7 $\mu$ Sv <sup>※1</sup>	約7.6 $\mu$ Sv <sup>※1</sup>	約9.3 $\mu$ Sv
10-B棟	約0.95 $\mu$ Sv <sup>※1</sup>	約7.6 $\mu$ Sv <sup>※1</sup>	約8.6 $\mu$ Sv
10-C棟	約1.5 $\mu$ Sv <sup>※1</sup>	約8.0 $\mu$ Sv <sup>※1</sup>	約9.5 $\mu$ Sv

<50 $\mu$ Sv

※1 将来的運用の線量上限は0.02mSv/hと想定して評価

## 2.変更後のリスクマップ工程表(案)

: 現状 (第103回(2022年10月26日時点))  
 : 変更案 (第104回(2022年12月19日時点))

No.		分類		項目														
③-8		圓形状の放射性物質		・廃棄物貯蔵庫(10棟)運用開始(2023年度上期)														
現状の取り組み状況				検討課題				今後の予定										
・2021年11月5日 実施計画変更認可申請 ・汚染土一時保管施設と統合し設置する計画へ変更 ・2021年12月～ 地盤改良工事に着手 ・2021年2月13日に発生した地震を踏まえ、建屋の耐震評価及び安全機能喪失時の線量評価等を実施中。 ・早期の屋外一時保管解消のため、一時的に耐震クラス(Cクラス)の判断基準(50µsV/事象)を超える運用を行うこと。将来的には耐震クラス(Cクラス)の判断基準を満足する運用とする方針を決定。				・一時的な運用と将来的の本運用時における耐震クラス設定に伴う、安全機能喪失時の線量評価や建屋及びコンテナの耐震評価等を実施中				・3工区のうち1工区(10-A棟)は2023年4月2022年11月に着工予定。										
工程表																		
対策	分類	内容	2022年度												2023年度	2024年度	2025年度 以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
固体廃棄物貯蔵庫第10棟設置	許認可	実施計画																2021年11月5日 実施計画変更認可申請
	現場作業	地盤改良工事																建屋は3工区を順次設置予定 耐震評価の確認のため、中断していた地盤改良工事を再開。
		建屋設置工事																
		機器設置工事																
運用	廃棄物受入																2023年度以降、順次運用開始予定	

### ■ 現地工事

- 地盤改良：・ 2021年12月14日地質調査を開始し，2022年1月14日に終了  
・ 2022年7月20日 2021年度末より中断していた地盤改良工事を再開  
10月3日 地盤改良工事 着手  
(地盤改良機 3機運行中)

【2022/12/2 撮影】



【現場状況】